

平成31年度（令和元年度）昭島市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム実績報告

1. 啓発活動

住宅耐震化に関するリーフレット市内全戸配布	令和元年8月1日実施 戸建住宅 25,803戸 集合住宅 26,618戸
平成13年度から平成29年度耐震診断実施後、耐震改修工事未実施世帯へのリーフレット送付	令和元年7月実施 55件
市内の耐震改修等施工業者リストの作成	

※「耐震セミナー」及び「建築無料相談会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

2. 実績

耐震診断・耐震改修 問い合わせ件数	耐震診断 23件 耐震改修 15件
耐震診断実施戸数	1戸
耐震改修等実施戸数	0戸

3. 今年度の状況

1) 啓発活動について

- ・ 住宅耐震化緊急促進アクションプログラムの実施初年度であり、住宅耐震化の必要性・重要性を広めるためにリーフレットの全戸配布を実施した。補助制度の周知については一定の効果はあったと考える。

2) 耐震診断・耐震改修実績について

- ・ 耐震診断に関する問合せや相談等において、全戸配布実施後に一時的に多くの反響があったものの、耐震診断1件耐震改修0件であった。

反響時に受けた相談の中でハードルとなっている要因として、対象住宅所有者の高齢化や診断費用・改修等費用の経済的負担、これらと同時に派生したバリアフリー化や老朽化・腐食した建物の修繕を要する等の事例が見られた。建物所有者が建物の改修と修繕を同時に実施した場合は経済的な負担が大きく、親族等との相談等を要し、検討にも時間がかかることから、耐震化について実績への反映に即効性がないものと思われる。

4. 次年度以降への改善策

- ・ 耐震化の実施に結び付く効果的な啓発を実施するため、自治会の加入者への回覧の実施等、対象建築物の所有者を視野に入れた啓発を実施したい。
- ・ 耐震セミナー開催時に、耐震化にかかわらず住宅の改修を含めた全般的な課題について建築士と相談ができるよう、来年度以降も無料建築相談会を同日に実施する等、実績の向上に資する工夫をしたい。